

大小の感覚・2

図1のような、正三角形をならべた図形に0から9までの数を書いて、図2や図3のように、となりあう

2つの三角形をかこみます。かこみはできるだけ多くします。図1ではかこみは3つまでです。

つぎに、かこみの数を上から下、左から右に見て、たし算をします。

図2では $13 + 50 + 69 = 132$ 、図3では $23 + 6 + 49 = 78$ です。

必要であれば2枚目を使って、(1)(2)に答えなさい。

図1

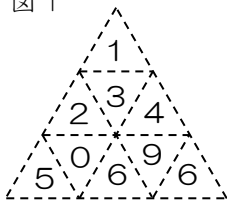


図2

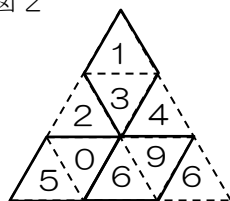
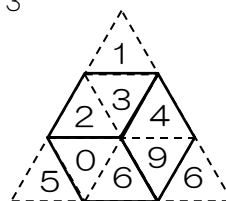
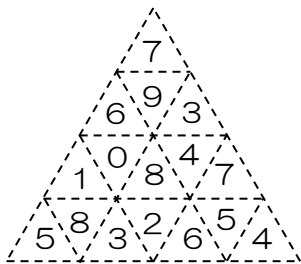


図3

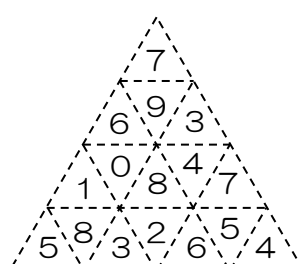


(1) 図4について、たし算の答えが最も大きくなるかこみ方と、小さくなるかこみ方をかきなさい。

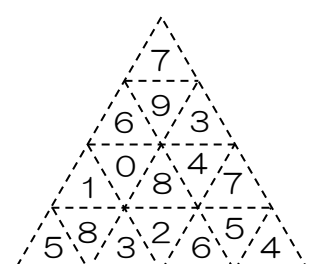
図4



最も大きいとき

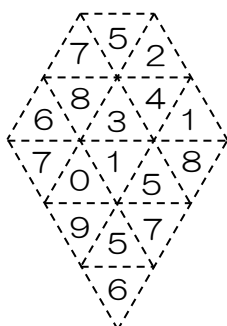


最も小さいとき

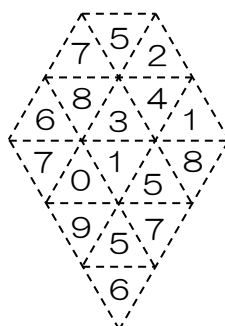


(2) 図5について、たし算の答えが最も大きくなるかこみ方と、小さくなるかこみ方をかきなさい。

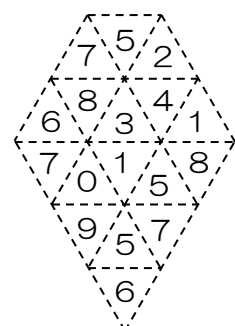
図5

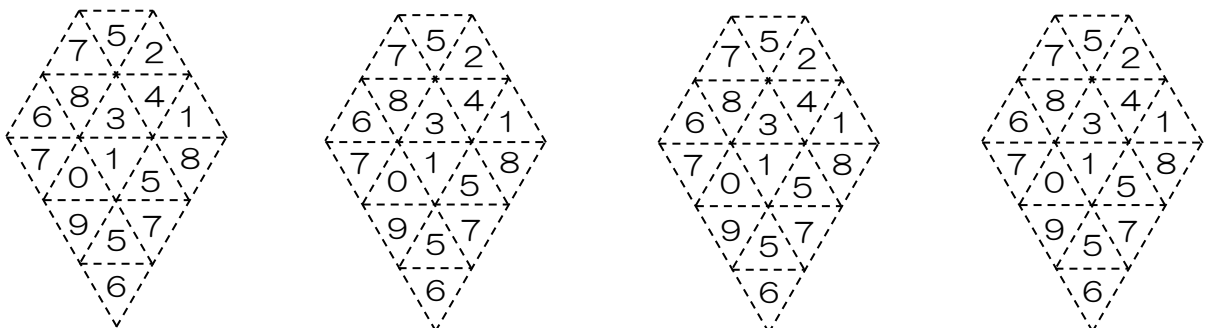
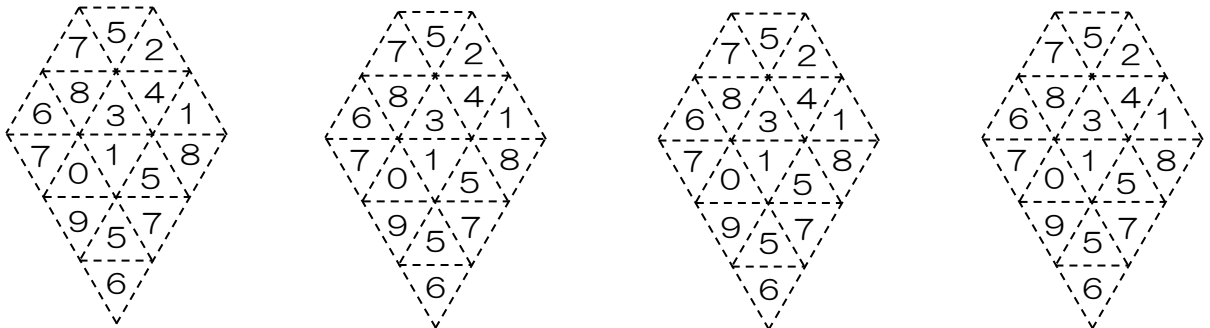
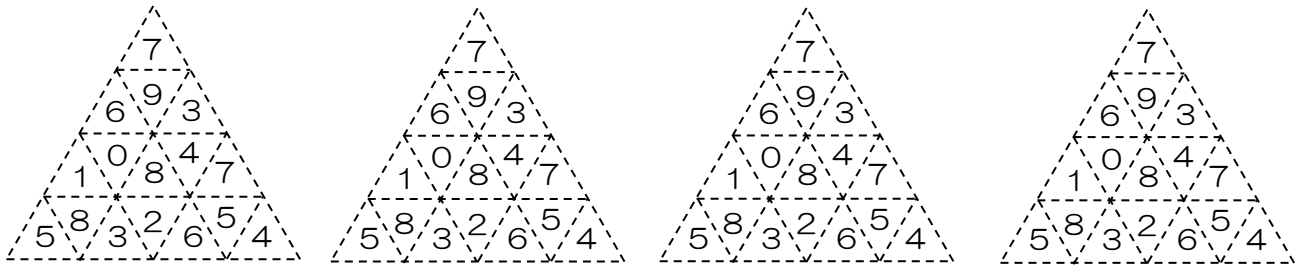
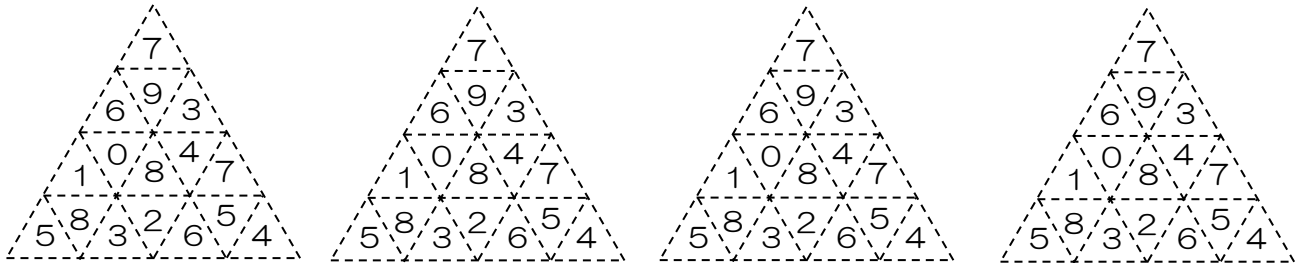


最も大きいとき



最も小さいとき

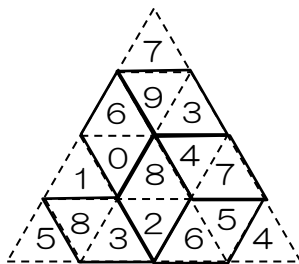




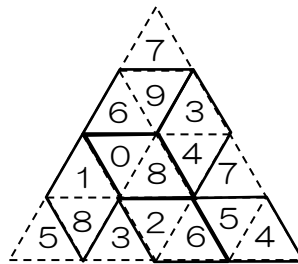
大小の感覚・2

次のようになります。大小関係を感覚的につかむことを意図しているので、実際に計算をする必要はないでしょう。

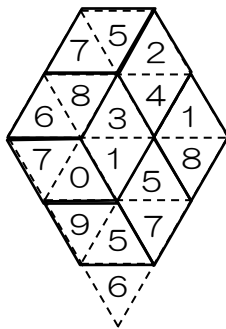
(1) 最大



最小



(2) 最大



最小

